新規		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト	、事業者名		株式会社 熊本ホーブ		·基本項 ·「企業」 ·【予定】	目は25 や「社内 の項目に	項目全て 」とあるも は1年以内	に、チャル のは、N に【〇年							Bみを記り 読み替え してくだ	載してくだ さくださ さい。	どさい。		(様式第	32号)
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	1 100 6444	2 ?= 	3 1 -/s/4	4	5	6				10 10	-ゲット) 11	12 ₹== ∞	13	14	15	16 5	17 (7 mm)
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営日標を社内で共有、実践している。	•		経営理念を事務所内で掲示、また経営目標を朝礼や会議で共有しPDCA サイクルを実施しています。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	•		研修や掲示物などを活用して法令遵守(コンプライアンス)の重要性を徹 底しています。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に問知している。	•		保険業法・金融商品取引法・消費者契約法を遵守するとともに、独占禁止 法に関する研修を実施しています。			ļ	ļ						10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門診署など の体制を整備している。	•		自動車販売業・整備業・損害保険代理店業務を通じて、お客さまに「安心」 と「安全」をお届けし、地域社会発展に貢献しています。代表取締役社長を 責任者として運営を行っています。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	•		保険募集には知的財産権を侵害しないよう保険会社が承認した販売ソールのみを使用しています。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	•		定期的な点検・研修を通じて個人情報管理を徹底しています。 「お客さま情報管理規定」を策定し共有・実践しています。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホル ダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消 責者、投資家等なり社会全体)	•		「お客さま声カード」などを活用して苦情だけでなく業務改善やステークホ ルダーとの対話を強化しています。																16	17
	8	日本の大学を今次では完全かり (サブライチェーンを理) ・サブライヤー、事業/トナナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や 生態系への影響が防止、保理値での適切な対抗バラスメント・汚 職・機収納防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		•						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP) を指定に、関係や見重しを行っている。		•	[予定]2025年9月までの認定を日指し、経済産業省認定事業継続強化 計画を策定している。									9		11		13.1			16	17
	10	を地定し、回線や見直しを行っている。 「事業承継」 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		•									8	9								17
	11	・事業水曜に関する検討・対策を行っている  【公正な質易】 ・フェアトレード商品の関連に取り組んでいる。		•		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメント を防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認し	•		差別やハラスメントの禁止を宣言し、ハラスメント防止研修の実施やポス ターを掲示しています。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
労働・人権	13	ている。 【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り 組んでいる。	•		エコ安全ドライブ(環境省など推奨)を励行するなかで業務中の交通事故 や労災事故疾滅に取り組んでいます。			3	4.5	3.3			8.8								10.7	
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応して いる。	•		雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った公正な待遇を 行っています。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事 の何立を図るためのワークライフバランスを推進している。	•		残業時間の管理、業務効率化、有給休暇の取得奨励などの働き方改革に 取り組んでいます。			3	<u> </u>	5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	•		費格取得奨励制度や定期的な研修実施など学習機会を付与しています。				4	5.5			8	9								
	17	「健康経営」 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。 「ダイバーシティ経営」 ・参唱な人材では、相名、一種がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	•		【予定】2025年9月取得予定 健康経営優良法人取得を日指して活動を実施しています。			3					8									17
	18	(タイパージ) 小板出 / 「 ・多様な人材(女性、外国人、関がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	•		あらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関 与しています。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・報型コロケッイルスをはしめたする感染症対策としても有効なテレ アークで特色を試して3金額等を導入している。 「デジタルトランスフォーメージュ(DX)の機能】 くれてでAにを表出したデジル化でメンライン化等のDXの構造によ り業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		•				3					8	9.1		11	12					
	20	・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。 「プライト企業」		•	テレマ自動車保険w/t90%を目指しています。			ļ					8	9.1		11	12		<b> </b>			
	22	[プライ・企業] ・プライ・企業に設定されている。 「環境汚染予核] ・廃棄物や有害化学物質の適切な循環、及び処理に取り組んでいる。	•	_	法令で規制されている有害化学物質の取扱いの無いことを確認していま			3.9	4		6.3		8	9		11.6	12.4		14,1	15.1		
環境	23		•		す。 専用アプリ(ゼロボード社などのツール)を活用して、CO2体出際減量を 可物化し、エネルギー使用量を変更しています。エフをサライブ(集別者 とを接受)の部所、即衛郎ボ、LEDへの計画的な切替に取り組みでいま			3.7			0.5	7.3				11.0	12.4	13	14.1	13.1		
	23	[エネルギー] ・電力やガソレなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。			71													13				
	24	[温暖化対策] - 自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでい る。	•		専用アプリ(ゼロボード社などのツール)を活用して、CO2排出量を可視 化し、CO2排出量を把握しています。社有車へのドラレコを装備し、CO2 排出削減量の対勢に取り組んでいます。		2.4	ļ	ļ			7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。 【効率的な音響利用】	•		エコ安全ドライブ(環境省など推奨)の励行、節電節水、LEDへの計画的な 切割に取り組んでいます。						6.6								14	15		
	26	130mの74.月点を行列: ・こみを減らし、資源を有效的に繰り返し使うため、発生抑制(リ デュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	•		3R(リテュース、リユース、リサイクル)の重要性を理解し、ごみの削減や ペーパーレス化に取り組んでいます。			ļ	ļ					9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の費と量の保全に取り組んでいる。	•		節水型便務を使用して節水に取り組んでいます。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン構入、リサイクル製品原匠等)。	•		<b>地産地消、エシカル認証商品の購入等を通じて環境に配慮しています。</b>									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		•		1	2				6.4						12.3	ļ]	14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面線化や植栽など縁の創出と保全、管理に取り組んでいる。		•	社有地の緑化に既に取り組んでおり引き続き保全活動を継続しています。				ļ							11:6 11:7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効等機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生 可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		•	[予定]2025年9月までに、社屋にソーラーバネルを設置できるよう取り組んでいます。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林斑源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを 推進している。		•							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【編林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		•							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
		ł									6.6					11.5						
	34	[海洋ご為] ・環境中で分解しにくいブラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		•				ļ	ļ	ļ							12.2 12.5	ļļ	14			
	35	[環境に配慮した交通手段] ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車 などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		•										9.4		11.2		13.1 13.3		ļ		
	36	12050年CO2排出屋実費ゼロへの取組み] -2050年CO2排出英費ゼロを日指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		•	保険会社の取組に協働し、ベーバーレス化(デジタル手続き・eco保険証券等)推進しています。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	•		定期的に会議を開催し、安全管理や事務業務な器に取り組んでいます。			3.9						9			12.4					
製品・サービス	38	【ユニバーサルデザイン】 ・魔がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や 環境整備を行っている。	•		洋式トイレヤウォシュレットの設置などの歌組みを実施しています。									9.1	10	11.7						17
	39	[地域資源] ・地域免消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		•			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木製化の取組み】 ・自社の検索を等の天井や珠、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、 木製化を推進している。		•								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んで いる。		•		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、 地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		•			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献 活動に積極的に取り組んでいる。	•		地域の清掃活動に年2回参加しています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	(前災、減災、レジリエンス(自助)] ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減 するため、パザードマップを構図し、避難行動計画や事制防災対策を 進めている。	•		自社BCPを作成しております。 年1回の避難訓練を行っています。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災土、水防団員、救助救		•	顕客である中小企業のBCP作成支援に取り組んでいます。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
		加している。				ļ				ļ			ļ									
	46	【防災関連商品の開発・販売】 - 防災関連商品の開発・販売を促進している。		•		ļ		ļ	ļ	ļ				9		11	12	13.1		اا	,	,
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGs の普及啓発や教育機会の提供を行っている。		•	自社のISDGs置音企業」の登録も進めています。 取引企業のSDGs経営支援も行っています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		•					4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 - 若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		•				<b> </b>	4.4	ļ			8.5 8.6									17
						ļ												<del> </del>	<b>  </b>			
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子ともこ対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産 素変事者の雑様に取り組んでいる。		•			2 . 基本項		4.3 4.4 4.5			List De C	8.6		10.2 FC-88	AN EVE	12	13	14	15	لــ	17